

株式会社 産業経済新聞社 サンケイスポーツ

社会学部経営社会学科

3年 菊田 健介

1. 実習企業（団体）の概要

産経新聞社は、フジサンケイグループの中心となる1社で、子会社22社と関連9社からなる産経新聞グループを構成している。サンケイスポーツは1955年2月に大阪、1963年2月に東京で創刊された。その産経新聞社が発行するスポーツ新聞、通称サンスポは時代の変化を敏感に捉え、ますます多様化する顧客のニーズに柔軟に対応している。

- ・創刊 1933年6月20日(産経新聞の前身である「日本工業新聞」を大阪で創刊)
- ・設立 1955年2月15日
- ・資本金 31億7219万8500円 ・従業員数 1863人(2016年3月31日現在)
- ・所在地 東京本社 東京都千代田区大手町1-7-2
大阪本社 大阪市浪速区湊町2-1-57
- ・代表取締役会長 太田 英昭 ・代表取締役社長 熊坂 隆光

2. 実習内容

社内部署の仕事内容の説明、現場での取材見学

3. 実習の成果

今回のインターンシップでサンケイスポーツが掲げる戦略を理解でき、その他の新聞社の戦略、方向性を理解することが出来た。最近の新聞社はサンケイスポーツに限らず、電子書籍化が進んでいたり、ネットに記事を掲載するなどして、サンケイスポーツにもネットに記事を掲載する専門の部署があることを知り、将来、新聞を紙面で見ることがなくなるのではないかと考え興味を持った。

また、新聞記者の方はオリンピックなどの大きなスポーツのイベントがあると忙しくなり、海外で開催される場合は現地に行って取材しなければならないので大変だと思った。野球やサッカーなど日本でやっている様々なスポーツのプロ選手の良い記事を書くために、その選手と友好的な関係を築くという方法を知って、選手と仲良くなれるので羨ましく思う反面、それは難しそうだと思った。サンケイスポーツは、社会に日本国民にスポーツを浸透させる貢献をしており、こういう企業が日本をよくしていくのだと思った。

4. 実習の感想

実際に仕事をしている現場や会議などを拝見し、社会人は学生とは全然違うなと思った。特に現場では取材前と取材時のON/OFFのスイッチの切り替えをしっかりとしており、取材の時は真剣な表情になって取り組んでいた。台風の際は本社での研修だったが、新聞社は台風の際は交通が悪くなるので早く原稿を仕上げ出版しないといけないため、こういうレアケースなときは非常に慌ただしくして社員の方たちは大変だなと思った。こういう雰囲気をこの時期に経験を出来て良かった。今回はサンケイスポーツのインターンシップだったが、他の様々な業界のインターンシップに行くことによって自分の将来の選択肢を増やしてくれるのではないかなと思った。今回は、菅沼様、編集局長、サンケイスポーツの社員の方々に大変お世話になった。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月22日(月)	社内研修編集局
2日目	8月23日(金)	社内研修営業局
3日目	8月27日(土)	日産スタジアムにて試合観戦、取材現場の見学
4日目	8月30日(火)	東京ドームにて試合観戦、取材現場の見学